

第5回 鳥取駅周辺リ・デザイン会議

令和6年8月20日（火）14時開会



第5回 鳥取駅周辺リ・デザイン会議資料 令和6年8月20日

1. これまでの取組経過について	・・・・・・・・・・P1
2. 鳥取駅周辺再整備の推進体制について	・・・・・・・・・・P2 - P4
3. 鳥取駅周辺再整備に向けた取組状況について	・・・・・・・・・・P5
3-1) サウンディング型市場調査について	・・・・・・・・・・P6 - P8
3-2) 交通実態調査について	・・・・・・・・・・P9 - P20
3-3) 若者や子育て世代を対象にしたワークショップ	・・・・・・・・・・P21

1 これまでの取組経過について

○令和3年度に策定した基本構想を上位計画に、令和5年度において、リ・デザイン会議での議論をとりまとめ、市民へのパブリックコメントを経て、令和6年6月に「鳥取駅周辺再生基本計画」を策定。

■策定の経緯

令和3年3月策定

鳥取駅周辺再生
基本構想(第2期)

令和5年8月

再生基本計画
の検討

- ・リ・デザイン会議の開催
- ・鳥取駅周辺特別部会の開催
- ・市議会常任委員会で説明

令和6年4月

再生基本計画
(案)公表

- ・市議会常任委員会で説明
- ・市民政策コメントの実施
- ・市議会全員協議会で説明

令和6年6月策定

鳥取駅周辺再生
基本計画策定

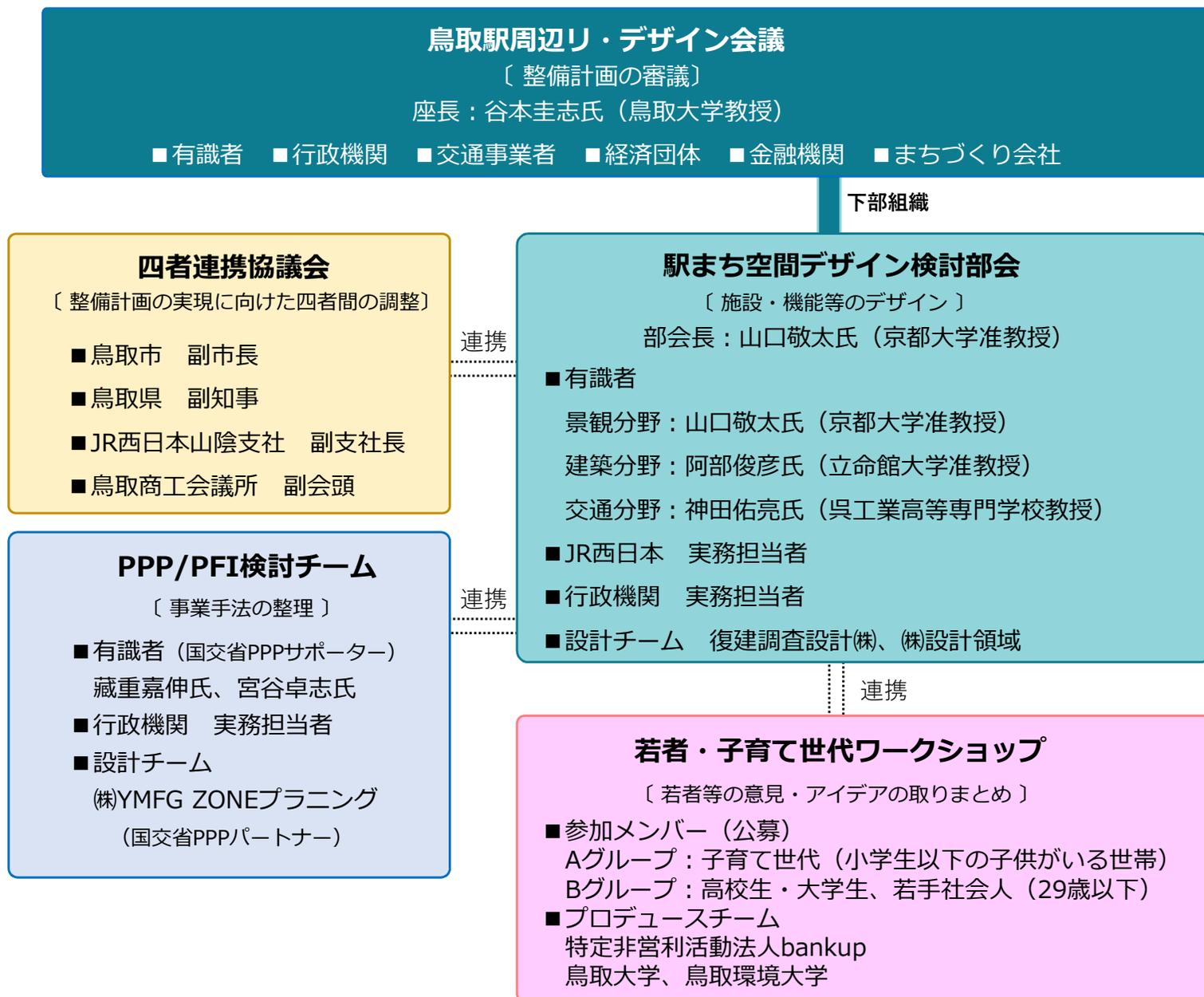
今後2カ年
かけて整備
計画を策定
予定



▲基本計画イメージパース

2 鳥取駅周辺再整備の推進体制について

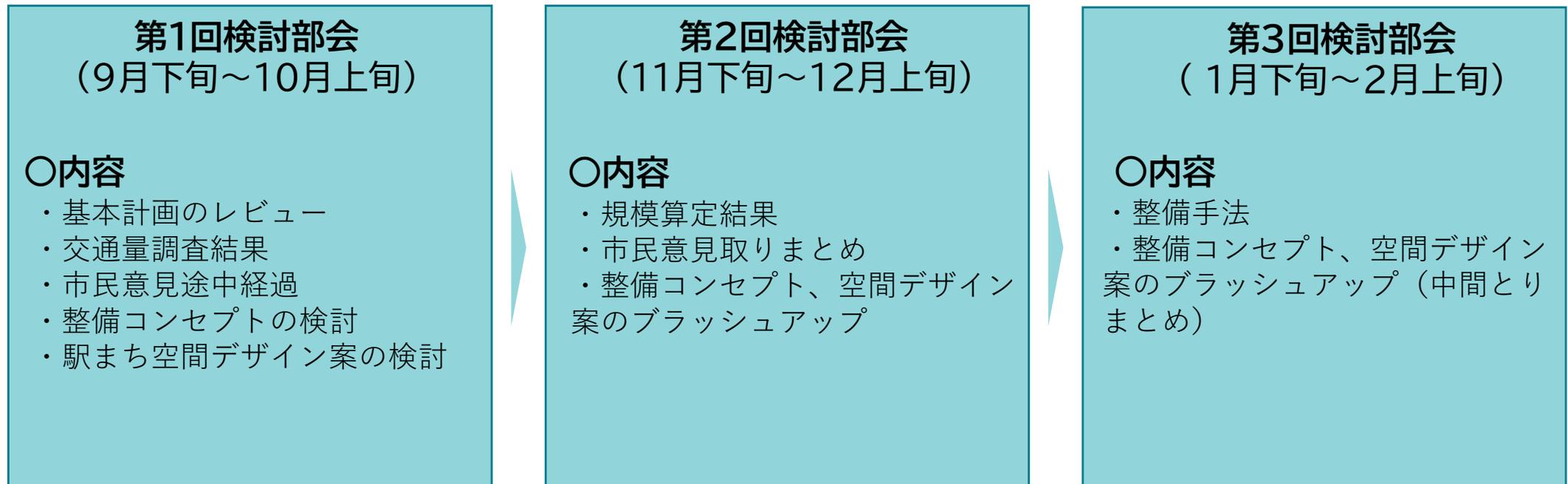
○今後、基本計画に基づき、市民や民間事業者、関係機関などと連携を強化し、より具体的な整備計画の策定、再整備に向けて取り組む。



■駅まち空間デザイン検討部会の設置について

- 本部会は、鳥取駅周辺リ・デザイン会議の下部組織として設置。
- 鳥取駅周辺再整備の具体的な計画について、実務的な議論を推し進めていくことをねらいとする。
- 今年度は3回程度の開催を予定し、来年2月頃を目途に中間まとめを予定。
- 有識者、民間事業者、行政等による議論に加え、若者・子育て世代ワークショップの意見も踏まえながら検討を進める。

■今年度の進め方



R7.2月頃 交通ターミナル部分、賑わい広場部分の
機能・配置計画等中間まとめを実施

■四者連携協議会の設置について

- 鳥取駅周辺再整備の取組を着実に推進していくため、鳥取市、鳥取県、JR西日本山陰支社、鳥取商工会議所の四者による協議会を設立。
- 再整備の実現に向けた関係者間の調整を行っていく。

■第1回鳥取駅周辺再整備に係る四者連携協議会実施概要

項目	実施概要
開催日時	令和6年7月8日(月)15:00~16:00
開催場所	市役所本庁舎2階多目的室2・3
委員 所属・役職	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取市 副市長 ・鳥取県 副知事 ・JR西日本山陰支社 副支社長 ・鳥取商工会議所 副会頭
議事内容	<ul style="list-style-type: none"> ○規約の承認 ○議題 (1)鳥取駅周辺再生基本計画について (2)鳥取駅周辺の再生に向けた今後の主な取組について (3)意見交換

■協議会の様子



▲当日の様子01



▲当日の様子02



▲当日の様子03



▲当日の様子04

3 鳥取駅周辺再整備に向けた取組状況について

○今年度は、整備手法の検討、交通結節点の整備方針、デザイン計画の具体化を進めていくために、下記の各種調査等を進めている。

1) サウンディング型市場調査(R6.8～調査開始)

鳥取駅周辺再整備は民間活力やノウハウを導入した事業実施を目指しており、民間事業者に対して本事業への参画意欲や、施設の機能・業務の意向を把握するためのサウンディング型市場調査を実施

2) 鳥取駅周辺交通実態調査(R6.7.17(水)実施)

鳥取駅周辺再整備に係る周辺交通状況の現状課題の深堀、再整備による影響等の分析・評価、駅前広場を含む新たな交通ターミナルの平面計画を検討していくため、鳥取駅周辺交差点の交通量や、バスやタクシーの待機場所の利用実態、駅周辺の歩行者通行量などの交通実態調査を実施

3) 若者や子育て世代を対象にしたワークショップ(R6.9～R6.11開催予定)

鳥取の未来を担う若者の意見やアイデアを駅周辺再整備に反映していくため、学生や若手社会人、子育て世代を対象にしたワークショップを実施します。若者が「どのようなライフスタイルを送りたいのか」という切り口から課題を抽出し、その解決に資する鳥取駅周辺に必要な施設・機能を検討

■鳥取駅周辺再整備に係るサウンディング型市場調査の実施方針

- サウンディング型市場調査は、民間事業者を対象に本事業への参加意向や興味関心がある機能・業務など整備計画を検討していく上での意向調査を実施予定。
- 今年度は、全2回の調査を予定しており、第1回目では公開型・対話型形式による調査を実施し、その結果を受けて、第2回目では、非公開で、より踏み込んだ内容について意向を調査予定。

第1回サウンディング調査(8/2)

<公開型・対話型のサウンディング調査>

◆目的

- ①本事業への参画意欲や、関心のある施設の機能・業務の意向、課題、要望を把握

◆実施方法

- ①申込者に対して、ヒアリングシートを事前配布
- ②当日、対話型での調査を実施(公開)



▲公開型のイメージ

第2回サウンディング調査(秋ごろ)

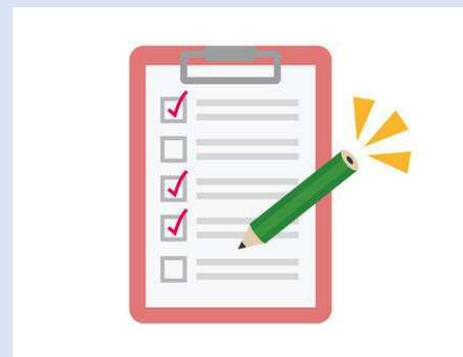
<非公開ヒアリング・アンケート形式を予定>

◆目的

- ①第1回サウンディング調査結果を踏まえ、民間収益事業の可能性やその内容など踏み込んだ意向を把握

◆実施方法

- ①個別事業者へのヒアリングもしくはアンケート形式による調査を検討中



今後も
継続し
て対話
を実施

3-1) サウンディング型市場調査について

■ 第1回公開サウンディング調査について

○第1回目の公開サウンディング調査には、多種多様な業界から15社が参加し、意見を伺った。

■ 実施概要

区分	実施概要
主催	鳥取市
実施日時	8月2日(金)15:10開始
実施方法	対面形式(オープン型)
会場	市役所本庁舎6階 会議室6-5~6-8
募集方法	市公式HP、県公式HP(鳥取県PPP/PFI推進地域プラットフォーム)で申込書、ヒアリングシート、事業説明資料を配布
募集期間	令和6年7月5日(金)~7月26日(金)
その他	鳥取県PPP/PFI推進地域プラットフォームセミナー ・日時:8月2日(金) 13:00~14:40 ・会場:市役所本庁舎6階会議室 ・内容:内閣府、有識者によるPPPに関する講演及び県内での事例発表など

■ 実施結果

(1)参加数:15社



▲当日の様子01



▲当日の様子02

3-1) サウンディング型市場調査について

○参加事業者に対し、順番に「若者や子育て世代が集い、楽しめる民間施設・機能／その進出可能性・条件・リスク」「ワクワクが50年持続するためのアイデア」について伺い、期待感や参加意欲、懸念点などについて伺った。

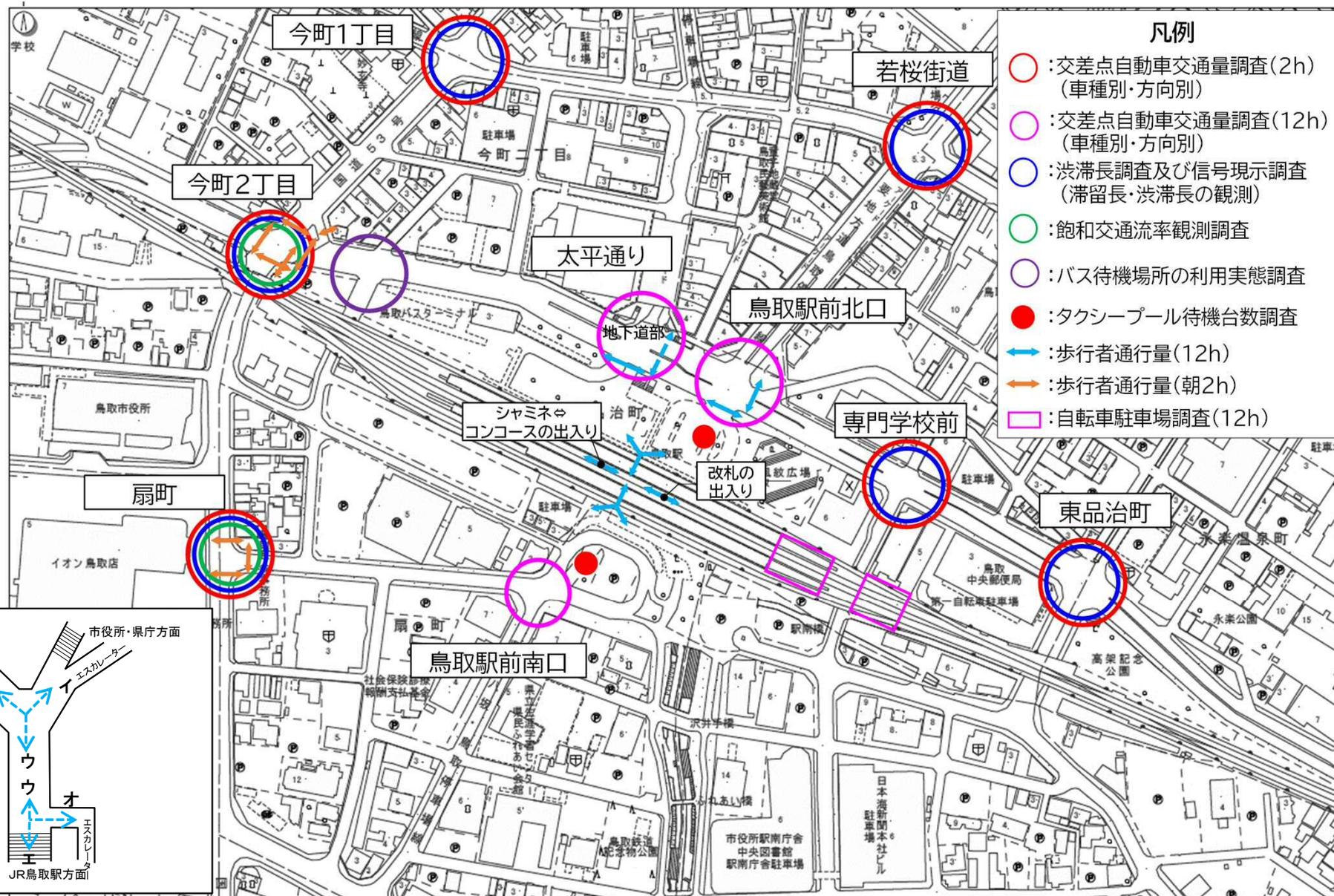
(2)主な意見

分類	調査結果 総評
若者や子育て世代が集い、楽しめる民間施設・機能／その進出可能性・条件・リスク	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取市内に未出店の<u>シネコン(映画館)</u>は若者の集客に関して、非常に期待できる。 ・若者のニーズとして期待が高い、<u>おしゃれなカフェや書店、図書館などの賑わい施設の出店</u>は十分効果的であると考えている。 ・山陰地方での民間を中心とした<u>中心市街地の活性化</u>の取組実績を有しており、決済・ポイント等の購買データを活用した若者の集客のデータ分析などと併せて、協力できると考えている。 ・文化施設等のホール機能については、大型コンテンツを誘致し続けることは困難であり、規模の大きすぎる施設は苦勞する。<u>施設規模が大きくなり、フレキシブルに対応できる作り</u>が望ましい。 ・<u>若者・子育て世代を呼び込む施設の運営ノウハウ</u>を活かし、駅での待ち時間を有効に活用できるちょっとした施設の導入も検討したい。 ・交通事業者としては、<u>駅に魅力を感じ若者が集える空間</u>としていく必要があり、<u>魅力を感じる歩行空間、二次交通への乗換の利便性・安全性への配慮</u>を考えていきたい。 ・エネルギー事業者として、<u>脱炭素の観点で関わっていく使命感</u>を持っている。 など
ワクワクが50年持続するためのアイデア	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>地元密着で人を増やすには、働き手を増やし、若い頃からイノベーションを勉強する機会や機能も重要。</u> ・そのためには、<u>エリアマネジメント</u>や都市部で実績がある<u>アーバンデザインセンター(UDC)</u>などの持続させるための<u>組織・仕組みが必要。</u> ・地元の方には、鳥取駅で全国の食材が手に入り、一方で県外からの来訪者は、<u>地元食材や魅力を楽しめるコンテンツなどが有効。</u> ・地方都市は、人口が減ってくる中で、<u>如何にして人流を生み出すかが重要</u>となる。県外からの人の流れを呼び込むには、<u>購買データ、人流データ</u>を活用しながら、考えていくことも必要。 ・50年前の鳥取駅整備でも市民はワクワクしたはずであり、世の中のニーズや人の流れなども常に変化していく中で、<u>変化に柔軟に対応できる余地や可変性を持った施設整備も</u>考えておくことが重要。 など 8

交通実態調査の実施報告

(1)実施日時:7月17日(水)7:00~19:00

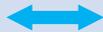
(2)調査内容:交差点交通量、渋滞長、歩行者通行量調査及び、駅周辺施設等の歩行者等通行量調査(詳細は下図の通り)



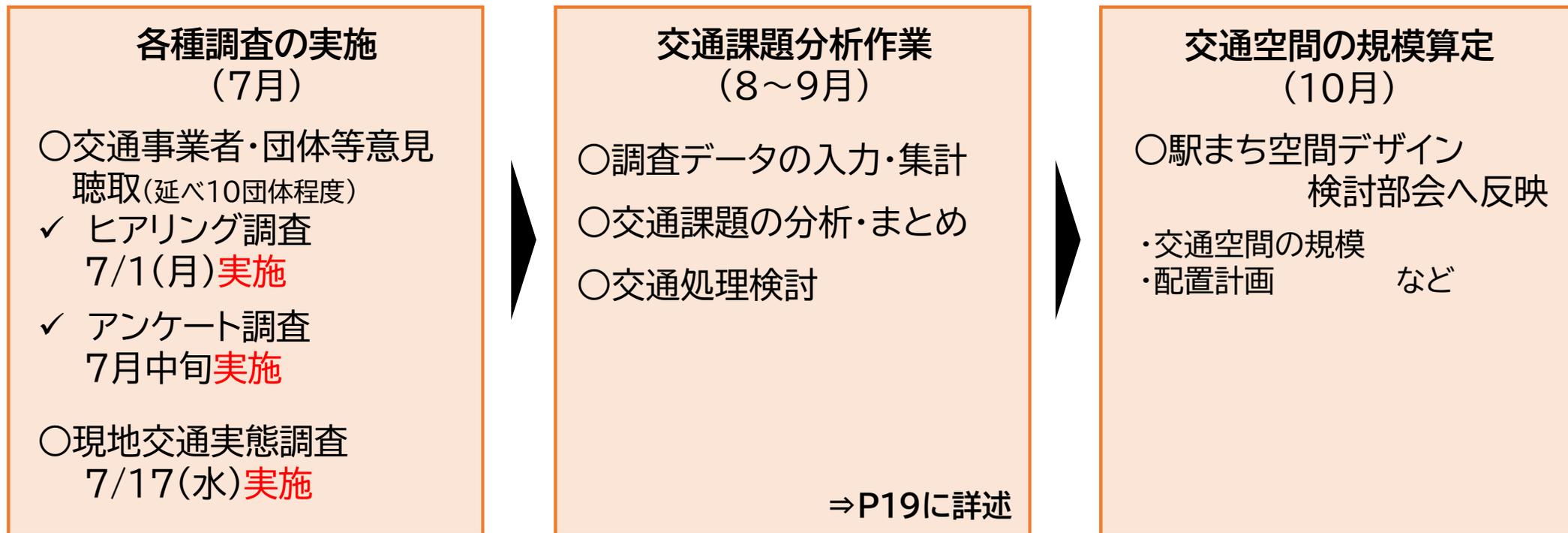
3-2) 交通実態調査について

調査項目	調査内容	凡例	結果の活用
交差点自動車 交通量調査 (人手観測)	[対象箇所]交差点6箇所 [調査内容]対象交差点の方向別交通量をカウント調査 観測単位は10分間隔 4車種別(乗用車・小型貨物車・バス・普通貨物車) [調査日時]平日1日/7:00~9:00(2時間)		交通流動の把握 路線の需給バランス 交通処理検討(静的解析)
交差点自動車 交通量調査 (人手観測)	[対象箇所]交差点3箇所 [調査内容]同上(※ただし、観測単位は1時間(ピーク時(2時間)のみ10分間隔) 4車種別(乗用車・小型貨物車・バス・普通貨物車) [調査日時]平日1日/7:00~19:00(12時間)		BT、乗降への流出入交通 量(需要)の把握
渋滞長調査 信号現示調査 (人手観測)	[対象箇所]今町交差点、扇町、の2交差点 [調査内容]各方面別の滞留長、渋滞長を観測する。 観測単位は10分間隔(10分間内の最大渋滞長及び10分間ごとの捌け残 り車両長を観測) [調査日時]平日1日/7:00~9:00(朝ピーク2時間)		渋滞状況の把握 交通処理検討(静的解析)
飽和交通流率 基準値観測 (ビデオ観測)	[対象箇所]今町交差点、扇町の2交差点 [調査内容]交差点4方向、車選別の飽和交通流率(青信号1時間あたりに通過しうる 最大の車両数)が把握できるようビデオ観測(撮影記録のみ) [調査日時]平日1日/7:00~9:00(朝ピーク2時間)		交通処理検討(静的解析)
バス待機・BTの 流出台数調査	[対象箇所]バス待機場及びバスターミナル(以下、BT)への流出台数 [調査内容]鳥取福部線の東西方向別のバス流入台数を①待機場入り、②BT入り、③ 待機場⇒BT入り別にカウント/バスのみカウント、一般車対象外 観測単位は1時間(※ピーク2時間は10分間隔) [調査日時]平日1日/7:00~19:00(12時間)		規模算定
タクシープール 利用状況	[対象箇所]鳥取駅北口及び南口タクシープール (2か所) [調査内容]タクシープールの待機台数を毎時30分で時間断面の写真撮影 [調査日時]平日1日/7:00~19:00(12時間)		規模算定
歩行者通行量	[対象箇所]鳥取駅北口・南口のメイン出入口、地下通路、駅前横断歩道3か所 [調査内容]出入口は、駅舎と方面別間の通行量をカウント [調査日時]平日1日/7:00~19:00(12時間)		規模算定 動線検討
	[対象箇所]今町交差点、扇町 [調査内容]横断歩道部の通行量 [調査日時]平日1日/7:00~9:00(2時間)		交通処理検討 (静的解析)

3-2) 交通実態調査について

調査項目	調査内容	位置図との関係	結果の活用
施設利用者数	[対象箇所]改札部、シャミネ入口(駅コンコース-シャミネ間)の2か所 [調査内容]断面の出入(上下)通子者数 [調査日時]平日1日/7:00~19:00(12時間)		規模算定 動線検討
駐輪場調査 (人手観測)	[対象箇所]市営鳥取駅高架下第1、第2自転車駐車場の2箇所 [調査内容]調査開始時点の駐輪台数のカウント、以降の出入台数をカウント 観測単位は1時間 第1(自転車、原付)、第2(自転車、原付) [調査日時]平日1日/7:00~19:00(12時間)		規模算定

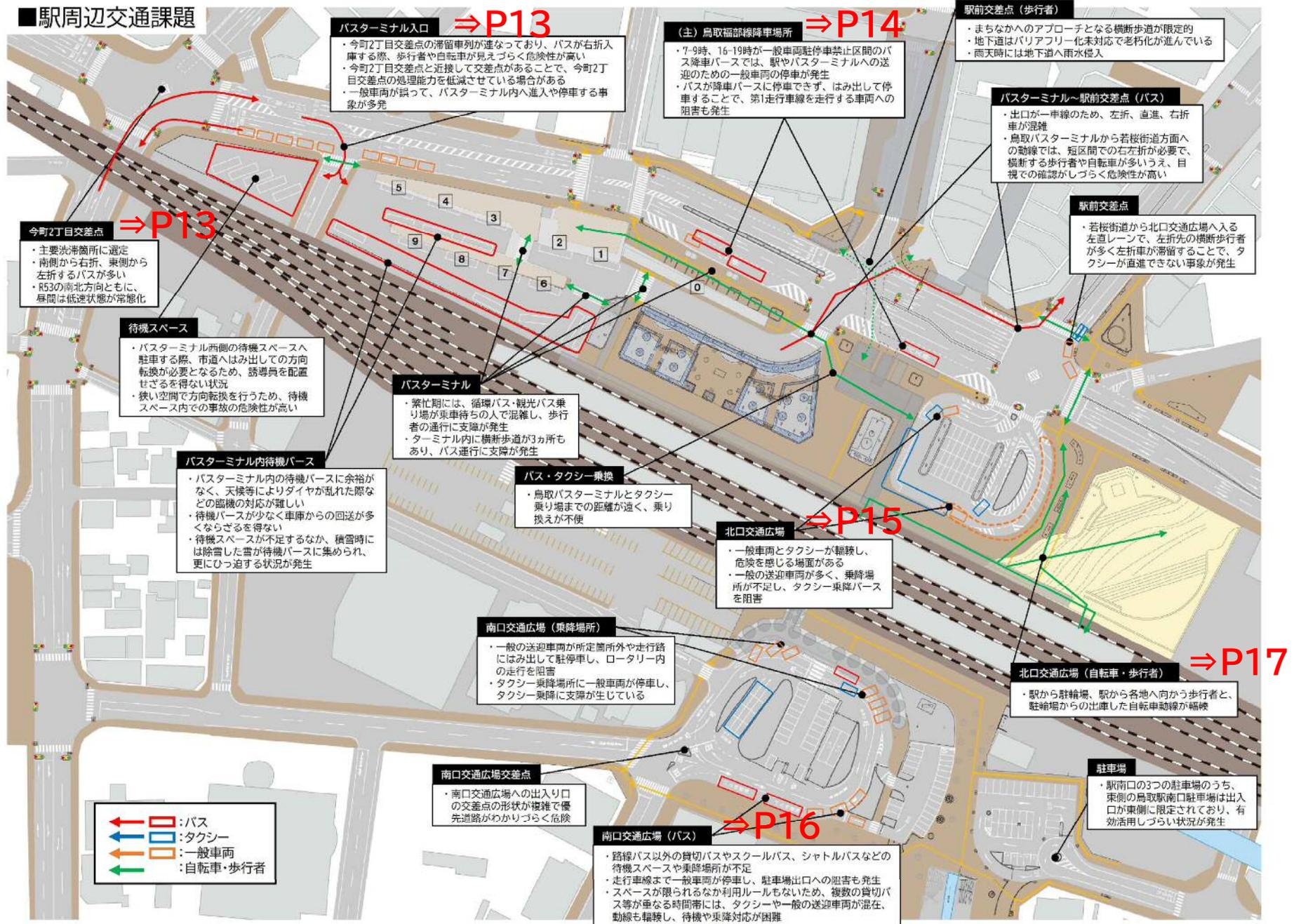
■ 取り組み状況と今後の予定



3-2) 交通実態調査について

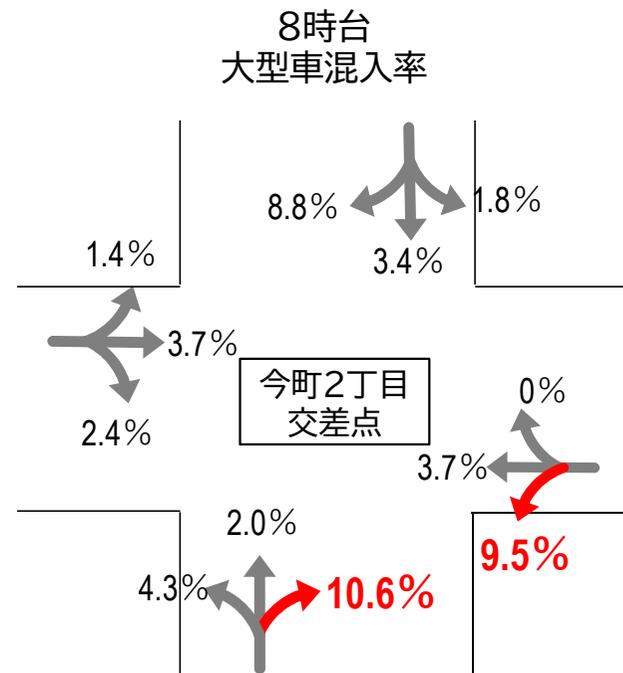
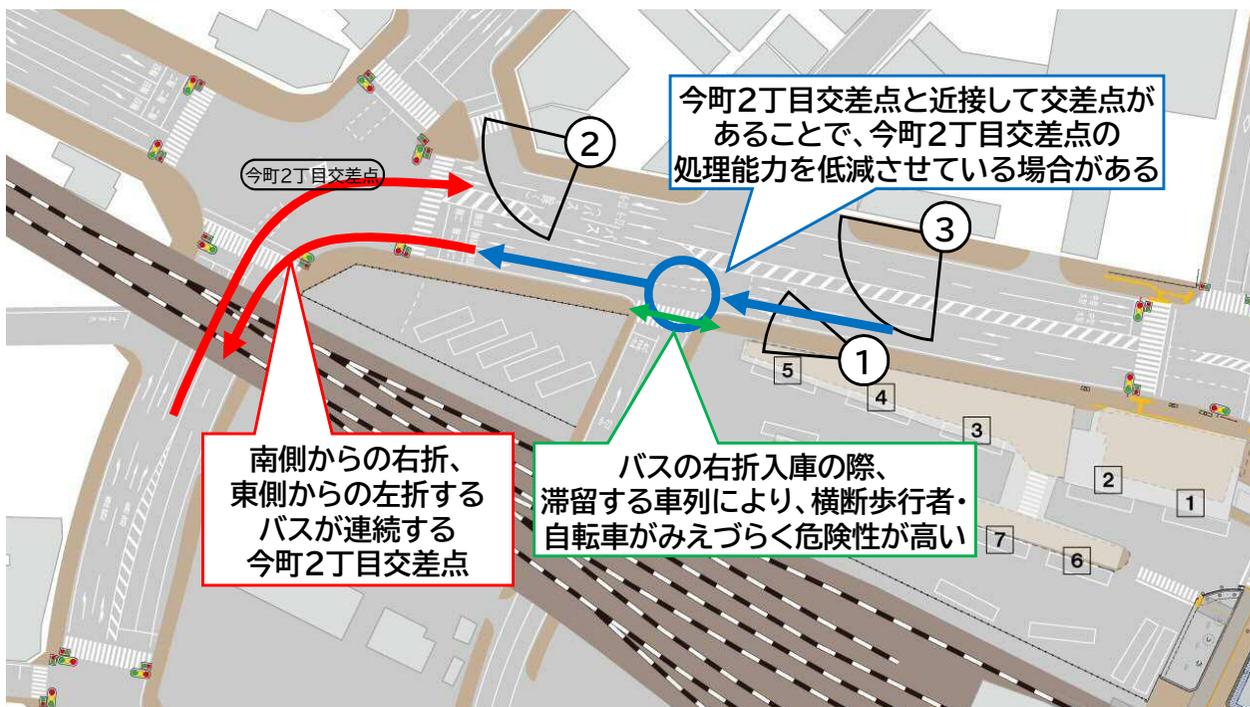
- 昨年度のリ・デザイン会議での意見や交通事業者等ヒアリングに基づく、駅周辺の交通課題を整理。
- 交通実態調査と合わせて実施した現地踏査での状況を次頁以降に示す。

■ 駅周辺交通課題



3-2) 交通実態調査について

■事例1 今町2丁目交差点付近の混雑状況



R6.7.17交通実態調査結果



▲①今町2丁目交差点を鳥取駅側から望む
(18:15頃撮影)



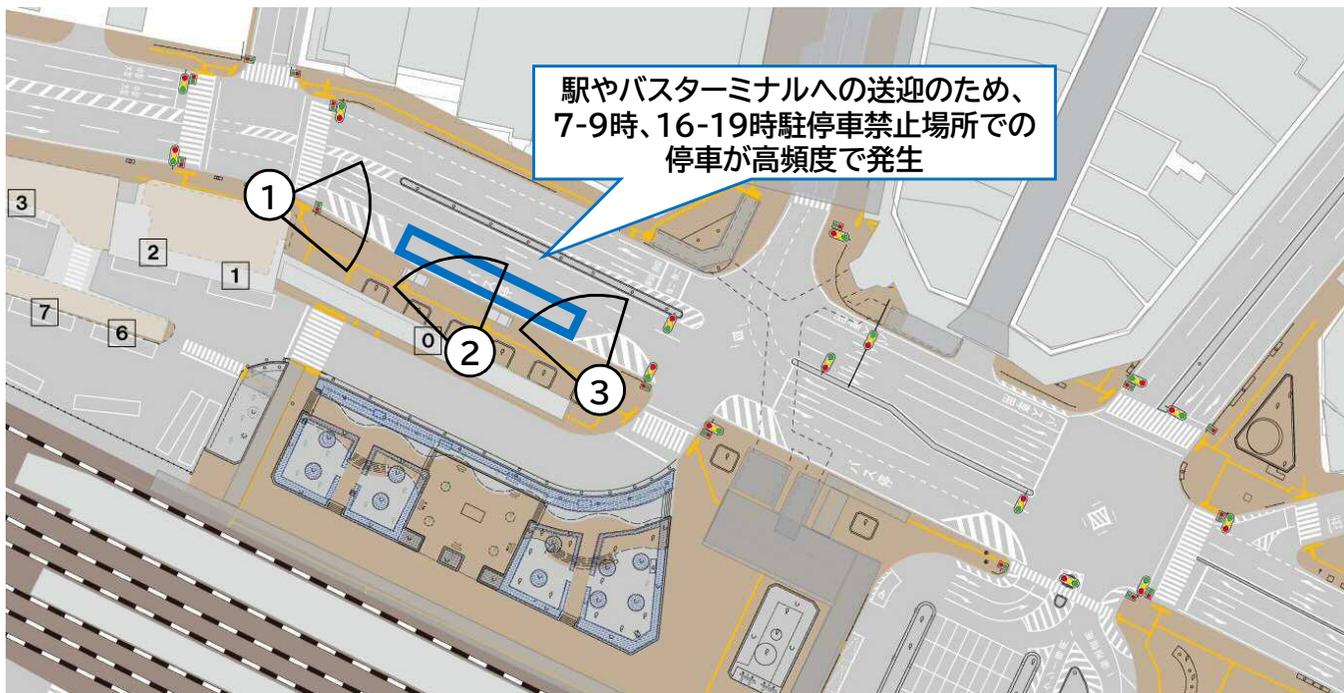
▲②今町2丁目交差点を鳥取駅側から望む
(9:00頃撮影)



▲③今町2丁目起点とした東側への渋滞状況
(7:45頃撮影)

3-2) 交通実態調査について

■事例2 (主)鳥取福部線上の降車バスへの路上駐車



7~9時、16~19時は、
一般車両駐停車禁止



▲①鳥取福部線 バス降車専用バス
(8:00頃撮影)

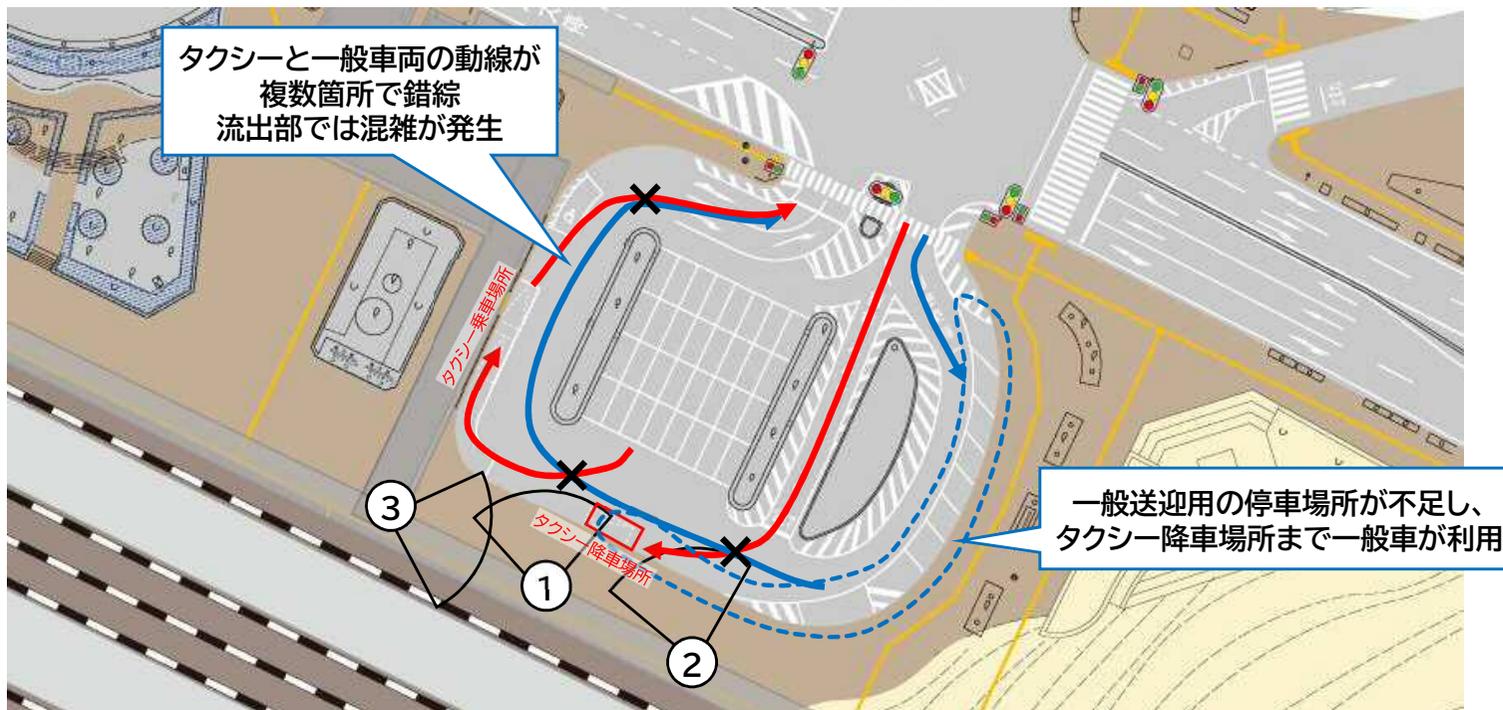


▲②鳥取福部線 バス降車専用バス
(6:30頃撮影)



▲③鳥取福部線 バス降車専用バス
(7:05頃撮影)

■事例3 駅北口ロータリーでのタクシーと一般車の混在と混雑状況



→ : タクシー動線
→ : 一般車両動線



タクシーと一般車の動線が重なり混雑発生

▲① 駅舎側から北口ロータリー左側を望む (7:30頃撮影)



一般車の停車・待機場所が不足し、タクシープール前まで利用

▲② 駅舎側から北口ロータリーを望む (18:00頃撮影)

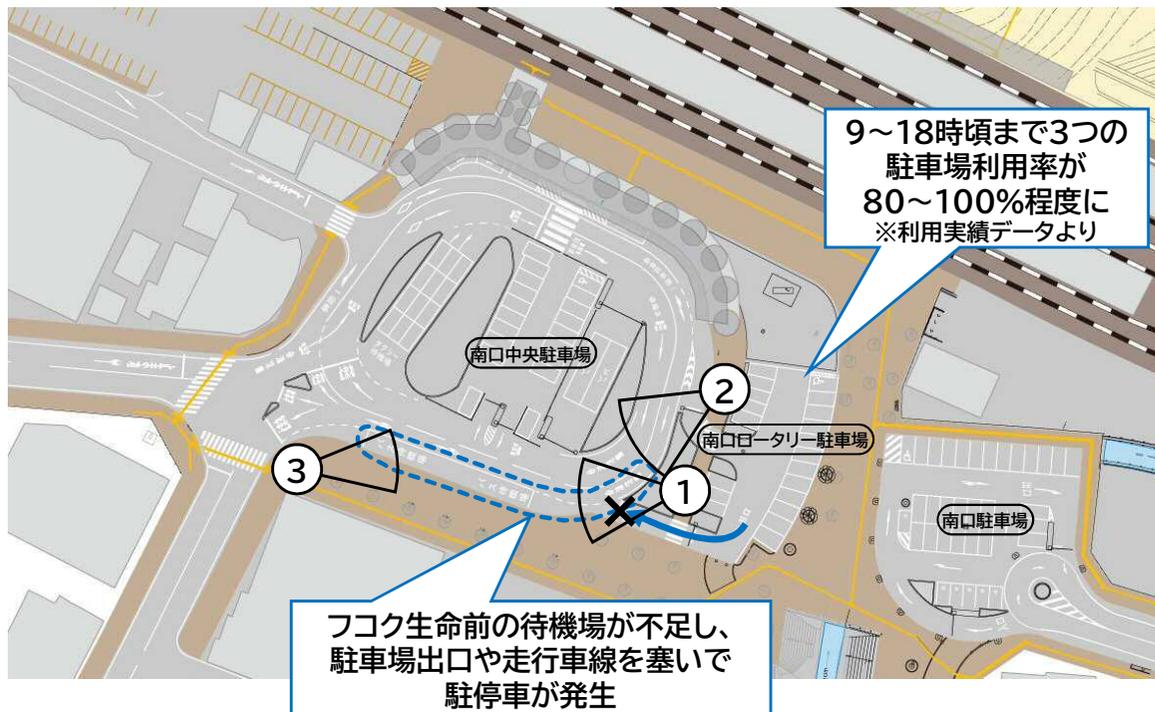


一般車の停車・待機車両が多く、タクシーの降車場所への停車ができない

▲③ 駅舎側から北口ロータリー右側を望む (18:00頃撮影)

3-2) 交通実態調査について

■事例4 駅南口ロータリーでのバスと一般車の混在と混雑状況



▲①南口ロータリー駐車場側からフコク生命前を望む
(8:30頃撮影)



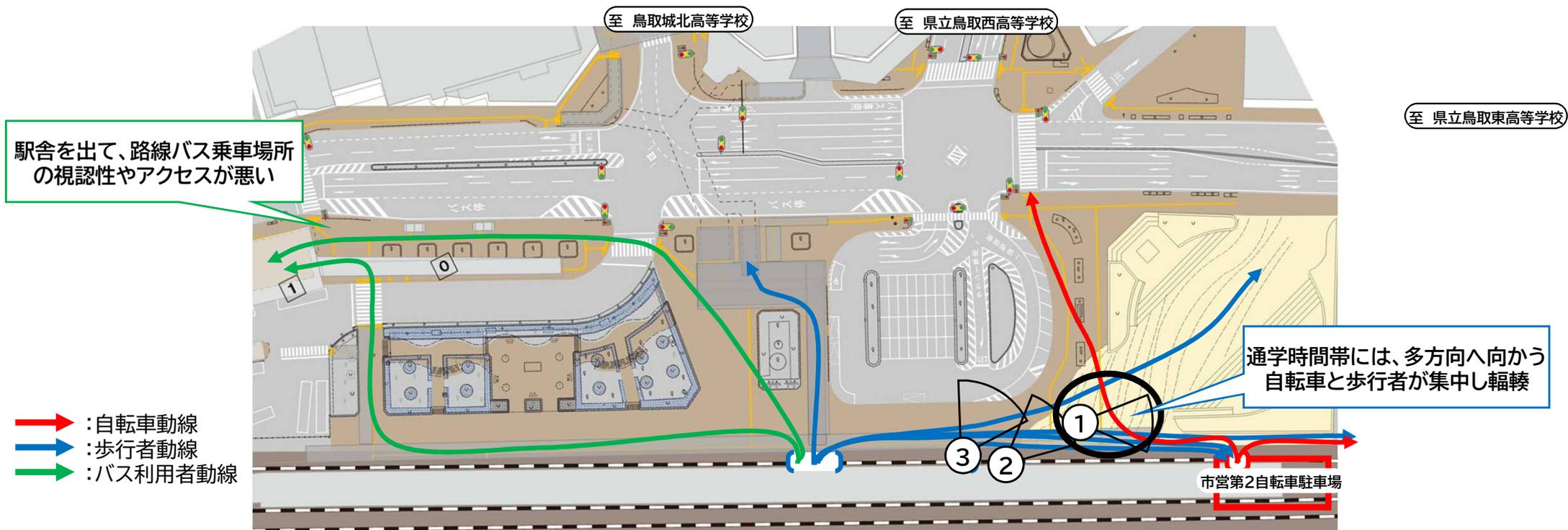
▲②南口駐車場側からフコク生命前を望む
(9:00頃撮影)



▲③フコク生命前から待機場を望む
(9:00頃撮影)

3-2) 交通実態調査について

■事例5 駐輪場利用の動線とJRからの乗換



▲①駐輪場付近(7:20頃撮影)



▲②風紋広場～駐輪場(7:20頃撮影)



▲③風紋広場～駐輪場(7:20頃撮影)

3-2) 交通実態調査について

- 鳥取駅南口駐車場3箇所合計で、朝6時台から夜間まで安定的な利用があり、利用率は50%を超えている。
- ロータリー内の鳥取駅南口中央駐車場と鳥取駅南口ロータリー駐車場では、公共交通の運行時間帯に概ね合致する昼間の時間帯で利用率が80%を超えるなど連続的なピークがある。一方で、出入口が東側に限定されている鳥取駅南口駐車場は、夜間の滞在車両も多く、一日を通じて利用率が60%を超えている。
- また、シャミネ駐車場は、駐車可能台数も多く、シャミネ開店時間帯で利用率50%程度で、余裕が見られる。

鳥取駅南口駐車場の利用状況

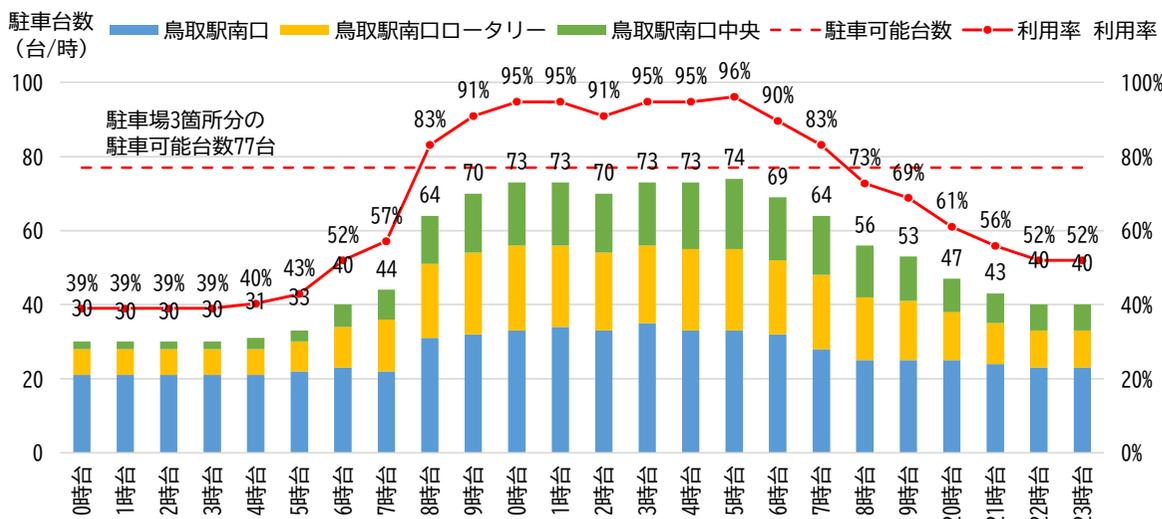


図 鳥取駅南口駐車場(右図3箇所分)の時間帯別駐車台数と利用率

※2023年9月1ヶ月分の利用データを用いて集計

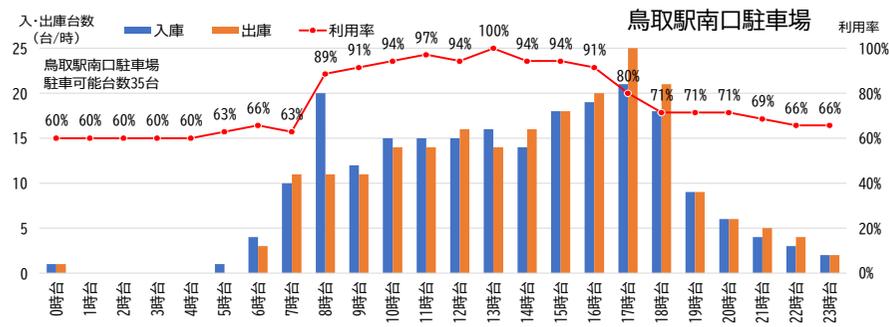
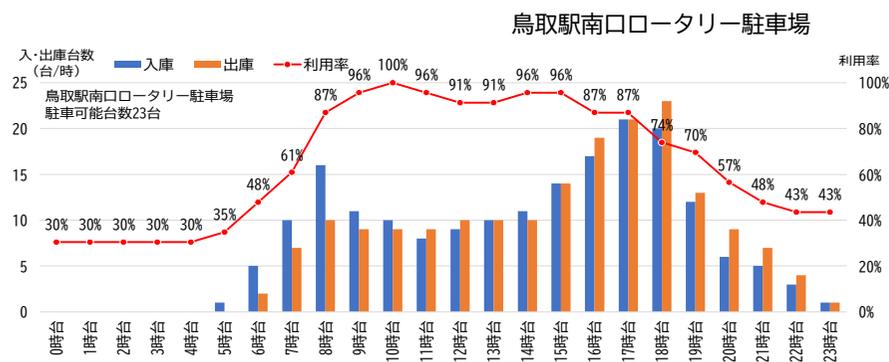
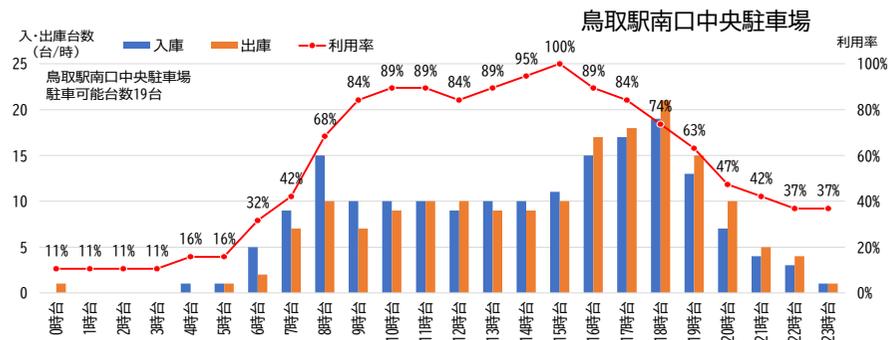


図 鳥取駅南口駐車場別の時間帯別入・出庫台数と利用率

※2023年9月1ヶ月分の利用データを用いて集計

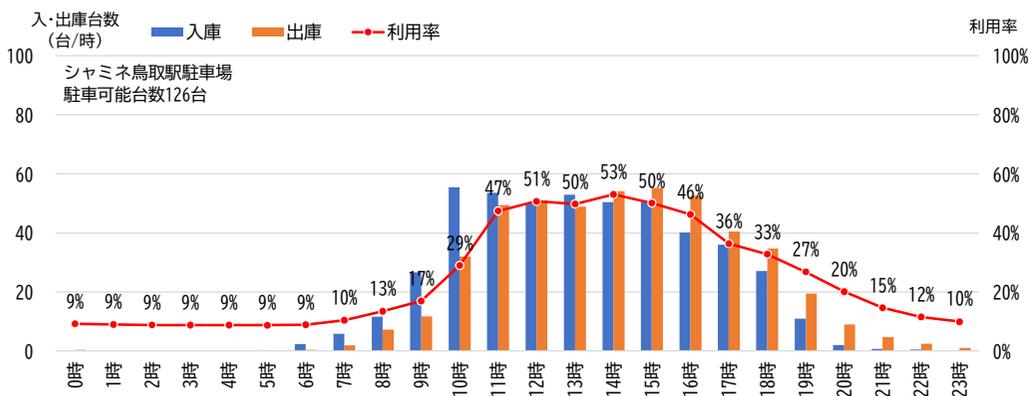


図 シャミネ駐車場の時間帯別駐車台数と利用率

3-2) 交通実態調査について

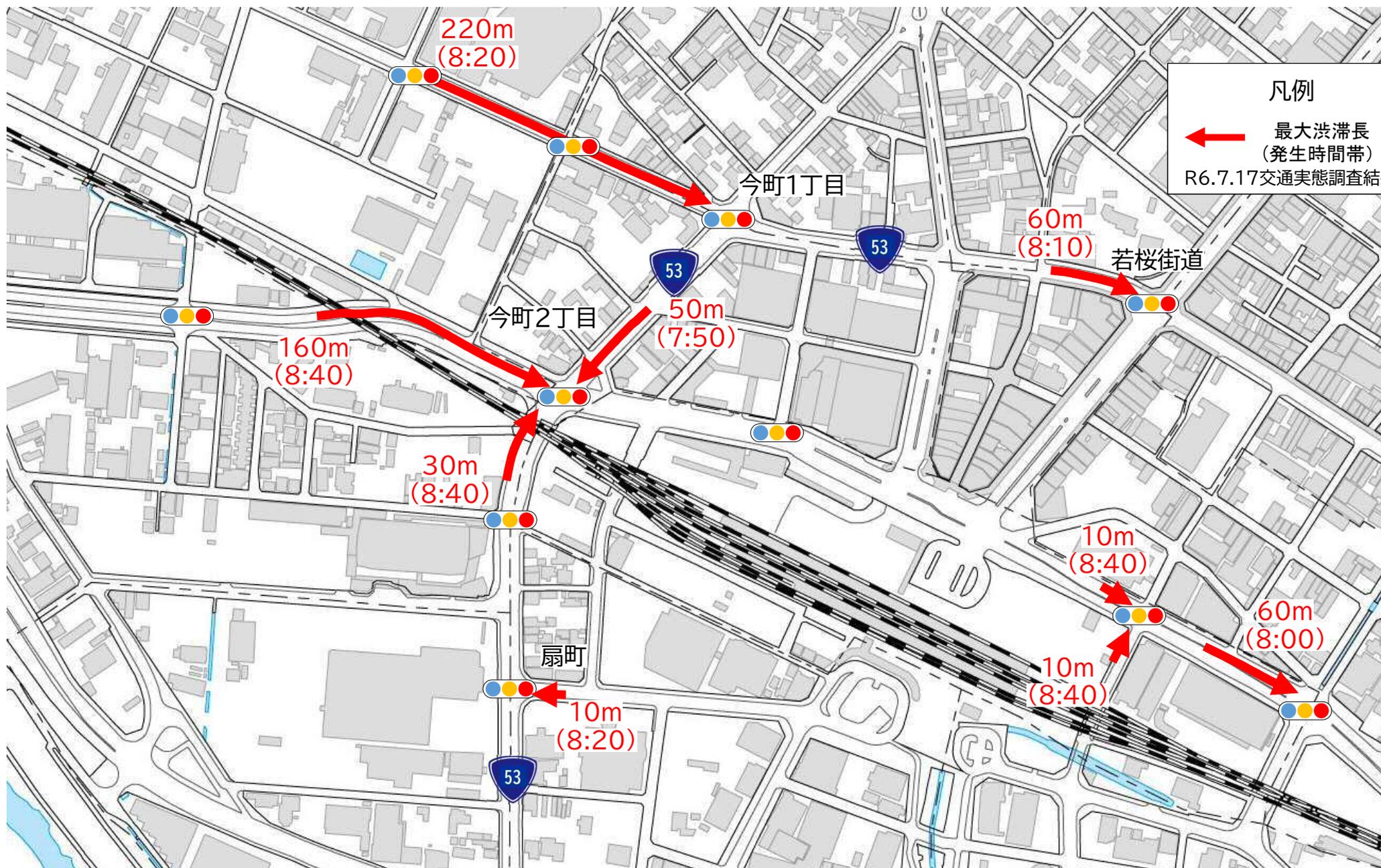
■交通実態調査等による交通課題のとりまとめ方針

○交通実態調査結果及び交通ビッグデータを活用して、課題及びその要因等を詳細に分析予定。

	分析視点	指標	箇所	分析ソース
現状及び課題	交通混雑状況	・交差点の方向別交通量 ・交差点の渋滞長	今町2丁目交差点、今町1丁目交差点 若桜街道交差点、扇町交差点 専門学校交差点、東品治交差点	・交通実態調査(R6.7)
		・交差点処理能力 (交差点需要率・流入部ごとの交通容量比)	今町2丁目交差点 扇町交差点	・交通実態調査(R6.7)
		・路線別の旅行速度	駅周辺道路網	・ETC2.0
	混雑要因	・大型車混入率 ・歩行者横断通行量	今町2丁目交差点、扇町交差点	・交通実態調査(R6.7)
		・鳥取BT入口への流入状況(右左折)	今町2丁目交差点東側の交差点	・交通実態調査(R6.7)
		・駅周辺の交通流動	今町2丁目交差点、今町1丁目交差点 若桜街道交差点、扇町交差点 専門学校交差点、東品治交差点	・交通実態調査(R6.7)
		・駅前道路の使われ方(車両の利用経路)	国道53号と鳥取福部線	・ETC2.0
	危険事象	・急ブレーキの発生頻度	今町2丁目交差点～鳥取駅前北口 若桜街道交差点～今町1丁目交差点	・ETC2.0
	タクシープールの利用実態	・タクシープールの利用率(時間帯別)	駅北側・南側タクシープール	・交通実態調査(R6.7)
	駐車場の容量	・駅南側の駐車場の利用率(時間帯別)	南口、南口中央、南口ロータリー、シャミネ	・既存データ
課題解消	バス路線の見直しによる混雑解消	・交差点処理能力 (交差点需要率・流入部ごとの交通容量比)	今町2丁目交差点 扇町交差点	・交通実態調査(R6.7)

交通実態調査結果(速報値)

①最大渋滞長(R6.7.17(水)) 7:00~9:00



3-3) 若者や子育て世代を対象にしたワークショップ

■ワークショップの実施方針

- ワークショップの開催やアンケートヒアリングを通じてニーズを把握する。
- 8月16日（金）に応募を締め切り、第1回ワークショップの開催に向けて準備中。

■実施概要

区分	実施概要
主催	鳥取市 協力:市内の高校、大学、子育て支援団体
実施日時	令和6年7月～12月
実施内容	<p>①ワークショップの開催(公開)</p> <p>【対象】 Aグループ:子育て世代(小学生以下の子供がいる世帯) Bグループ:高校生・大学生等(短大・専門学校・大学院生を含む)・若手社会人(29歳以下)</p> <p>【募集人数】 各グループ20名程度</p> <p>【募集期間】 令和6年7月5日(金)～8月16日(金)(先着順)</p> <p>【募集方法】 申込専用サイトで募集。 市公式HP・SNS等で情報発信</p> <p>【開催時期】 Aグループ:第1回:9月14日 第2回:11月頃 Bグループ:第1回:9月28日 第2回:11月頃 報告会:12月頃</p> <p>②アンケート調査及びヒアリング調査の実施</p> <p>・ワークショップでの意見や結果を踏まえ、若者等を対象にしたアンケート調査及び、鳥取駅やケヤキ広場、バスターミナルなど、駅周辺の施設等を利用している若者や子育て世代を対象にヒアリング調査を実施(10月頃予定)</p>



ワークショップのイメージ